

2025 年度事業報告

I. 社会的養護の必要な子どもの自立支援

1. こども・若者未来基金

こども・若者未来基金による、給付型支援を継続しました。

① 通常メニュー

・2025年度は、23名29件、総額7,321,000円の給付を決定しました。（内訳は以下）

メニュー	件	給付決定額（円）
くらしスタート	11	1,751,000
くらしサポート	5	3,120,000
資格サポート	0	0
まなびサポート	11	1,650,000
つなぎサポート	2	800,000
合計	29	7,321,000

② 若者への寄り添い型支援枠

困難を抱えた若者たちに寄り添う伴走者が、若者のために自由に使える費用の補助を目的とした支援です。今年度も、助成対象を千葉県内自立援助ホームとし、30万円を上限に6団体から申請があり1,410,000円給付しました。

③ 緊急メニュー

2019年度に受けた遺贈を原資とし、募集期間を設定した通常メニューとは別枠で、公的な支援が届きにくい若者へ10万円を上限としてできるだけ早いスピードで給付をするものです。今年度は6名に580,000円助成しました。

「緊急サポートSOS」の趣旨に賛同いただいた企業より毎年30万円の寄付を受けています。

2022～2025年度給付決定状況

（単位：円）

メニュー	2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
くらしスタート	13	3,130,000	9	2,250,000	11	2,750,000	11	1,751,000
くらしサポート	9	4,060,000	6	2,820,000	2	960,000	5	3,120,000
資格サポート	0	0	3	690,000	0	0	0	0
まなびサポート	8	1,600,000	7	1,400,000	9	1,800,000	11	1,650,000
入学金つなぎサポート	1	500,000	2	1,000,000	2	800,000	2	800,000
合計	31	9,290,000	27	8,160,000	24	6,310,000	29	7,321,000
寄り添い型支援	-	-	5	1,430,000	3	900,000	6	1,410,000
緊急サポートSOS	7	700,000	3	205,000	1	70,000	6	580,000
総計	38	9,990,000	35	9,795,000	28	7,280,000	41	9,311,000

*表内の数字は決定額で、実際の給付額とは異なります

- ④ こども・若者未来基金の寄付募集目標は10,000,000円とし、基金運営委員会に参加の生協団体とともに寄付募集を呼びかけました。おうえんだんの趣旨に賛同する生協団体と、クラウドファンディングを含めた当基金への寄付は総計で9,200,000円でした。今後、高齢化や物価高騰等により、基金への寄付にまでは至らない場合もあると思われませんが、引き続き丁寧な対応や発信方法を工夫していきます。
- ⑤ クラウドファンディングは目標を200万円とし10月17日～1月15日まで実施しました。結果は1,726,000円(目標達成率86%)、58名の方からの寄付が集まり、手数料・消費税を引いた1,460,196円が振り込まれました。ここ数年、低迷を続けてきたクラウドファンディングですが(昨年度達成率38%)、新たな寄付者を開拓するツールの一つとして、今後とも周知方法の改善に取り組んでいきます。

2022年度～2025年度寄付額

(単位：円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
寄付総額	12,006,743	8,789,958	8,243,434	7,305,442	9,200,000
(内、生協団体分)	8,484,033	6,565,508	5,512,998	5,278,839	6,083,257

- ⑥ ちばこどもおうえんだんの会員や寄付者には、8月と12月のボーナス時期にクラウドファンディングのチラシを発送し寄付を呼びかけました。生協団体は組合員への個別チラシやHP、店舗へのカンパ箱の設置などの方法で、寄付募集を呼びかけました。
- ⑦ 5月24日(土)基金報告会2024を幕張メッセ国際会議場にて開催しました。基調講演は、吉田正浩さん(児童養護施設子山ホーム園長)を講師に、「児童養護施設の子どもの暮らし～皆さまに知っておいて欲しいこと～」をテーマに、講演いただきました。「若者たちからの報告」として大戸優子さん(前おうえんだん理事・いちほら福祉ネット所長)にコーディネーターをお願いし、2022年度、2024年度に助成した若者たち3名とのトーク会も行いました。参加者44名。
- ⑧ 「社会的養護の子どもの暮らしと自立を考えるシンポジウム2025」を2回開催しました。第1回は10月2日(木)アミュゼ柏(柏市)にて「社会的養護の子どもたちに寄り添って」をテーマに、井上勝俊さん(児童養護施設成田学園)と和田摩耶さん(千葉県里親)を登壇者として迎えました。参加者47名。第2回は11月8日(土)千葉市商工会議所第1ホール(千葉市文化センター14階)にて映画「花束」<サヘル・ローズ 監督>を上映しました。上映後、サヘル・ローズさんとキャストの吉住海斗さんと栗原直也さんのトークセッションを行いました。参加者97名。
- ⑨ こども・若者未来基金の周知のため、8月に児童養護施設や自立援助ホーム、母子生活支援施設、千葉県里親会、ファミリーホーム等(72ヶ所)へ基金の募集要項を送付しました。
- ⑩ 交流会を、8月3日(日)に美食の森 菜の花Market(美浜区幸町)で開催しました。2024年度に給付した若者7名と伴走者6名(事務局2名、計15名)が参加しました。

2. 食料衛生用品支援

基金による金銭的支援の他に、これまで基金を給付した若者のうち伴走者を通して希望のあった者に、7月と12月に食料衛生用品を送付しました。生協団体、フードバンク、千葉市社会福祉協議会や個人のみなさまから食料品や衛生用品などを提供いただきました。

7月44名、12月41名に支援を渡すことができました。

3. 就労支援

就労支援については、これまで複数の企業から就労支援をしたいという申出がありました
が、就労には至っていません。今後も他団体との連携を模索しながら検討します。

II. 貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業

1. 第9回 ちばこどもおうえん広場 2025&子どもの虐待防止オレンジリボンキャンペーンを 2025年11月2日(日)に千葉市きぼーる3階子ども交流館アリーナで開催しました(こ どもおうえんだんは事務局)。

午前の部「あそびの広場」参加者58名(大人29名、こども29名)。「アートで表現!」
「おおまくと体をつかっていっしょにあそぼう!」午後の部第22回「千葉県こどもの人
権懇話会」を開催。「今、私が考えていること・したいこと」をテーマにファシリテータ
ーを含む6人の若者によるトークセッションを行いました。参加者58名。

2. 「わくわくプロジェクトCHIBA」の今年度の実施はありませんでした。

III. 里親家庭支援について

千葉市より千葉市里親委託等推進委員の委嘱を受け「千葉市里親委託等推進委員会」に参
加し、千葉市における里親推進の状況の把握、関係機関や他団体との情報共有を行いました。
また委員会の一員として千葉市里親制度啓発パネル展示実行委員会に参加しました。

IV. 啓発・広報事業

1. 啓発事業

- ① 社会的養護の子どもの暮らしと自立を考えるシンポジウムを2回開催しました。
詳細は「I. 社会的養護が必要な子どもの自立支援」の項をご覧ください。
- ② 「子どもの人権懇話会」の開催に協力しました。詳細は「II. 貧困家庭・要支援家庭の
子どもの支援事業」の項をご覧ください。

2. 広報事業

- ① ニュースレターを、4月(NL26号)、7月(NL27号)、12月(NL28号)の計3回発行し
ました。シンポジウム、食料衛生用品支援、基金交流会、助成した子どもたちへのイン
タビュー、児童養護施設見学会の報告などを掲載しました。
- ② X(旧ツイッター)を継続更新しています。フォロワーが増えず、苦戦していますが、今
後もおうえんだんの活動の周知に努めます。
- ③ ちばこどもおうえんだんに参加する県内3生協(パルシステム千葉・生活クラブ生協・
なのはな生協)の機関紙等で、組合員に向け団体の活動を発信しました。
生活クラブ機関誌コルザで年2回、ちばこどもおうえんだんの紹介が掲載されています。
- ④ 2月15日(日)に開催された「コープみらいフェスタ きやっせ物産展」に出展し、おうえ
んだんの活動の周知に努めました。

V. 調査研究活動事業

1. 食料支援アンケート調査

7月と12月に、これまで子ども・若者未来基金で助成した子どもたちの伴走者に、困りごとや支援への要望も含めた現況の聞き取りをし、食料衛生用品支援につなげました。

若者たちには食料支援時にアンケートを配付。アンケートの回収率を高めるため食ベレポなどを写真で送れるようにしました。学生は一人暮らしを始めたり、サークルや課外活動に参加し、新しいコミュニティを作りつつあるようです。アルバイトが忙しく荷物の受け取りがスムーズにできない若者もいました。食料品以外にも日用品や文房具等の要望が出ていました。

2. ちば・社会的養護関係者フォーラム

社会的養護の子どもたちにかかわる人たちが施設や制度、キャリアという垣根を越えて集い、学び、話し合い、共感し社会的養護を必要とする子どもたちへの向き合い方をともに模索しています(2024年度より継続)。ちばこどもおうえんだんは事務局として携わっています。

- ・第4回 7月12日(土)美浜保健福祉センター。参加者34名。
話し手：青木敬彦さん(児童養護施設滝郷学園 里親支援専門相談員)
聞き手：鈴木真吾さん(ファミリーホームつむぎ ホーム長)
- ・第5回 10月18日(土)美浜区ボランティアセンター。参加者22名。
話し手：後藤弘実さん(児童養護施設房総双葉学園職員)
田尻 望さん(里親支援専門相談員)
聞き手：小倉 淳さん(自立援助ホーム「みんなのいえ」ホーム長。
- ・第6回 2月14日(土)株式会社ドットライン会議室(千葉県里親会とのコラボ企画)。
参加者50名。
基調講演「こども・若者のメンタル疾患と自立支援について」
新津田沼メンタルクリニック副院長
株式会社ライデック(発達特性研究所)代表 精神科医 松澤大輔さん。
第2部 支援機関発表「自立や就労支援に関する社会資源を知ることからはじめよう」

VI. 組織運営

1. 運営体制

事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催しました。

理事会

開催日	主な案件
第1回 4月28日	(1) 第10回通常総会について (2) こども・若者未来基金2024基金報告会について (3) ちばこどもおうえんだん年間計画について
第2回 5月24日	(1) 理事の役割分担について
第3回 7月15日	(1) こども・若者未来基金募集要項、申請書について (2) 2025年度基金について (3) こども・若者未来基金交流会について (4) こども・若者未来基金シンポジウムについて
第4回 11月13日	(1) 来年度食料支援について (2) 次回(第3回)基金運営委員会について
第5回 2月18日	(1) こども・若者未来基金2025年度助成決定について (2) 第11回通常総会について (3) 基金報告会について

こども・若者未来基金運営委員会

開催日	主な案件
第1回 6月17日	(1) 食料衛生用品支援について (2) 基金交流会について (3) 2025年度基金申請について
第2回 10月31日	(1) 来年度食料支援について (2) 次回(第3回)基金運営委員会について (3) 申請者面接について
第3回 12月2日	(1) 通常メニューの面接について (2) 若者への寄り添い型支援の面接について
第4回 1月30日	(1) 寄付額の確認、助成決定について
第5回 3月27日	(1) 総会での「こども・若者未来基金」の活動報告と次年度計画の確認 (2) 基金報告会開催について

こども・若者未来基金生協実務者会議

開催日	主な内容
第1回 6月25日	食料支援、基金交流会について
第2回 8月29日	基金シンポジウム開催について
第3回 3月10日	寄付額決定、次年度計画について

2. 会員拡大について

- ① 新規加入者が6人増えましたが、会員数は目標に達しませんでした。
- ② 寄付者の寄付控除については、ニュースレターに掲載して周知を図りました。

		目標		実績		
				2025年度会費納入済み会員		会員総数
		人数・団体数	口数	人数・団体数	口数	人数・団体数
運営会員	個人	16人	20口	9人	10口	10人
	団体	5団体	54口	4団体	53口	5団体
おうえん会員	個人	150人	170口	118人	182口	137人
	団体	10団体	12口	5団体	7口	6団体

*定款第3章会員第9条(3)に「継続して2年以上会費を滞納したときに、会員の資格を喪失する」とある。実績の会員総数には2024年度会費未納者も含まれる。
2024年度決算報告の活動計算書「受取会費」は、「2024年度会費納入済み会員」数による。

VII. その他

1. パルシステム奨学金事業への奨学生の推薦と伴走支援
推薦した奨学生(前期8名 後期9名)と、毎月定期的に面談を行い(電話・対面等一おうえんだん事務局など4名で対応)、一般社団法人パルシステム若者応援基金に伴走支援報告書を年2回提出しました。11月には伴走者支援団体連絡会議に参加して報告を行いました。学業の継続ができなかったり連絡が取りにくいといった学生もおり、今後はますます伴走支援の重要性が増し、伴走支援の資質の向上も必要となってきます。
2. 2024年度に引き続き NPO 法人ちばこどもホスピスプロジェクトの事務事業を受託しました。経理決算事務、支援者管理事務を処理し、運営委員会にて月次報告をします。
3. パルシステム千葉の組合員活動に参加
3月19日(木) ぱる☆ひろば
こども権利について(ちばこどもおうえんだん)と里親さんのお話(千葉県里親会に講師依頼)
4. その他
 - ・いなげビレッジ運営協議会に参加し、合同防災訓練や全体研修会に参加しました。
 - ・子ども若者支援に関わる多団体のゆるやかなネットワークである「CHIBASHI こども若者未来会議」の実行委員会に参加しました。
 - ・令和7年度千葉県中核地域生活支援センター評価会議構成員として参加しました。
 - ・第33回(2027年度)日本子ども虐待防止学会 学術集会ちば大会実行委員会に参加しました。
 - ・こども虐待防止オレンジリボンたすきリレーちば実行委員会に参加しました。

<資料>

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
自立支援事業	基金報告会 2024 児童養護施設の子どもたちの暮らし ～皆さまに知っておいて欲しいこと～	5月24日(土)14:30～16:30	幕張メッセ会議室 103	4人	社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定の参加希望者 44人
	社会的養護の子どもたちの暮らしと自立を考える 「社会的養護の子どもたちに寄り添って」(第1回)	10月2日(木)10:00～11:30	アミュゼ柏	4人	社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定の参加希望者 47人
	社会的養護の子どもたちの暮らしと自立を考える 「映画『花束』上映会(監督サヘル・ローズ)」(第2回)	11月8日(土)14:00～16:30	千葉商工会議所 第1ホール	5人	社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定の参加希望者 97人
貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業	第9回ちばこどもおうえん広場 午前の部:あそびの広場 午後の部:第22回「千葉県子どもの人権懇話会」 オレンジバイカーズ活動	11月2日(日)10:00～15:30 午前の部 10:00～12:00 午後の部 13:30～15:30	千葉市きぼーる3階 子ども交流館 アリーナ	2人	子どもと子どもの支援に興味関心のある不特定の参加希望者 午前の部 58名 午後の部 58名
啓発・広報事業・政策提案	SNSやHPを活用した情報発信	随時	法人事務所内	6人	不特定多数
	ニュースレターの発行	4月、7月、12月	法人事務所内	6人	会員・寄付者等約300人
調査研究活動事業	第4回ちば・社会的養護関係者フォーラム 第1部リレートーク 第2部意見交換	7月12日(土)14:00～16:40	美浜保健福祉センター4階 大会議室	3人	社会的養護の子どもの自立支援に従事もしくは関心のある不特定の参加希望者 34名
	第5回ちば・社会的養護関係者フォーラム 第1部リレートーク 第2部意見交換	10月18日(土)14:00～16:30	美浜区ボランティアセンター活動室2	3名	社会的養護の子どもの自立支援に従事もしくは関心のある不特定の参加希望者 22名
	第6回ちば・社会的養護関係者フォーラム(里親会研修会) 第1部基調講演 第2部支援機関発表	2026年 2月14日(土) 13:45～16:50	ワールドビジネスガーデン マリブウエスト 34階	1名	社会的養護の子どもの自立支援に従事もしくは関心のある不特定の参加希望者 50名(託児4名)